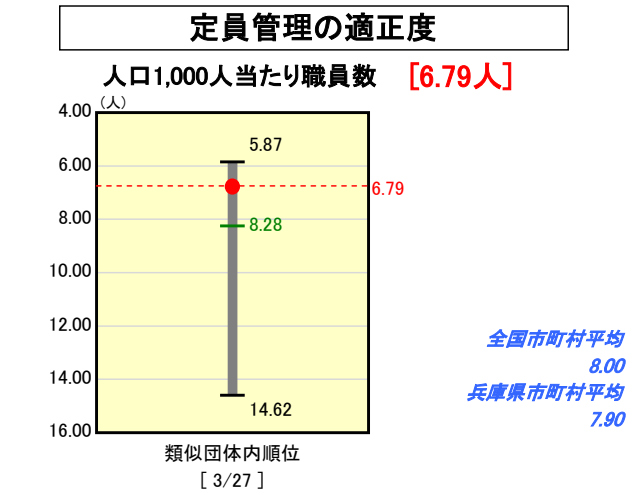
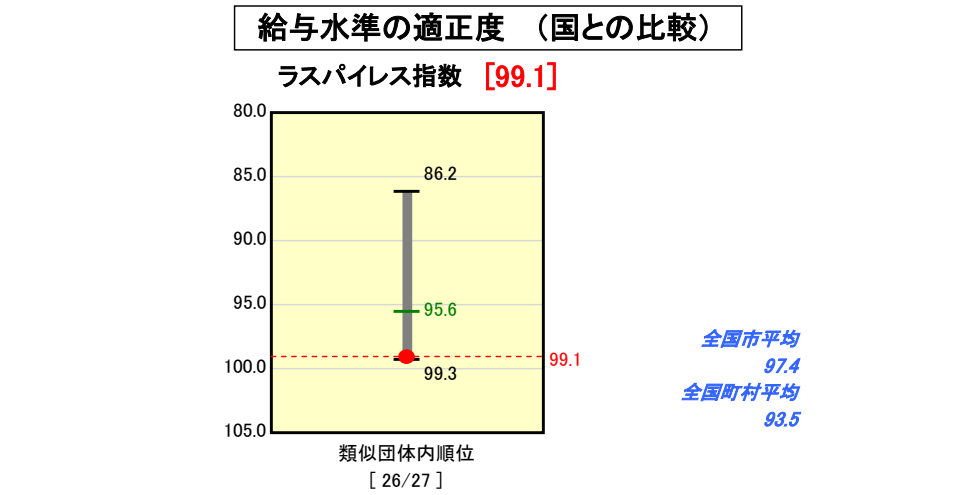
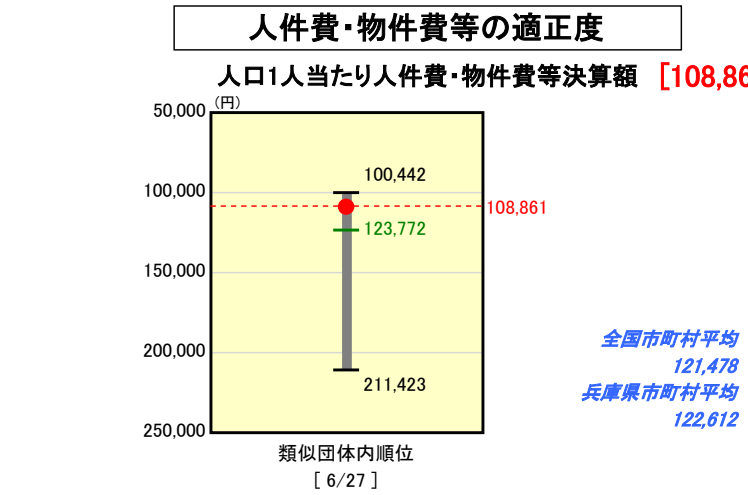
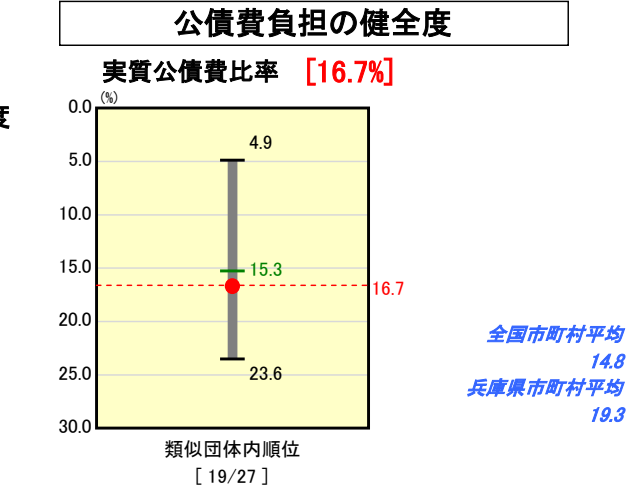
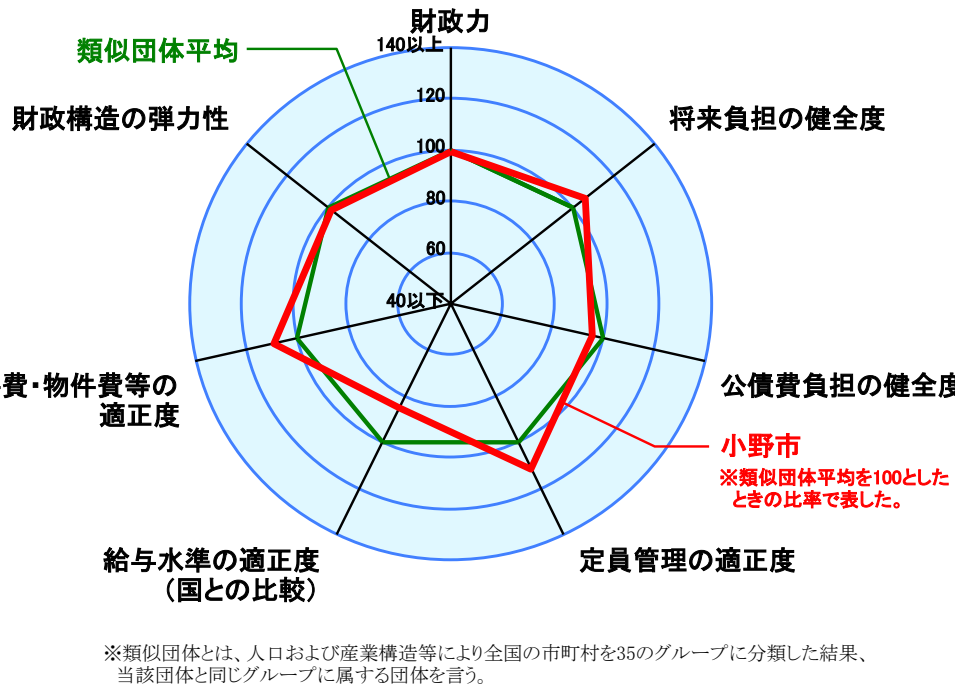
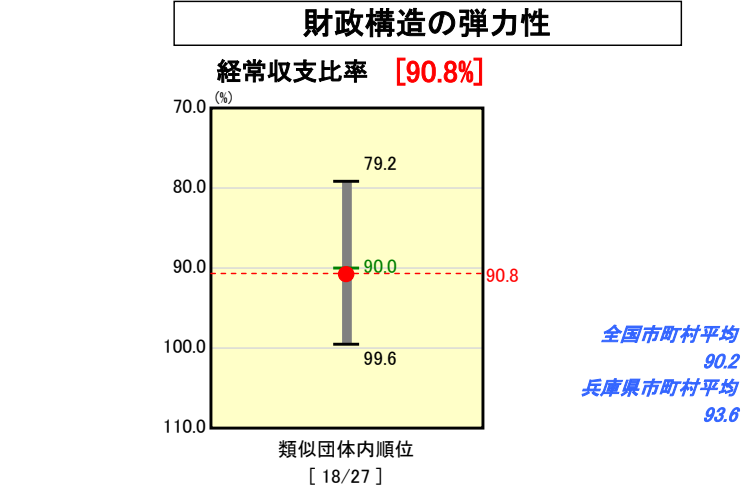
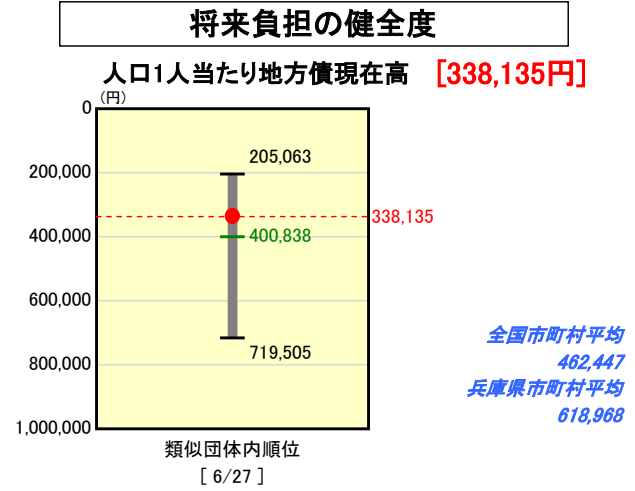
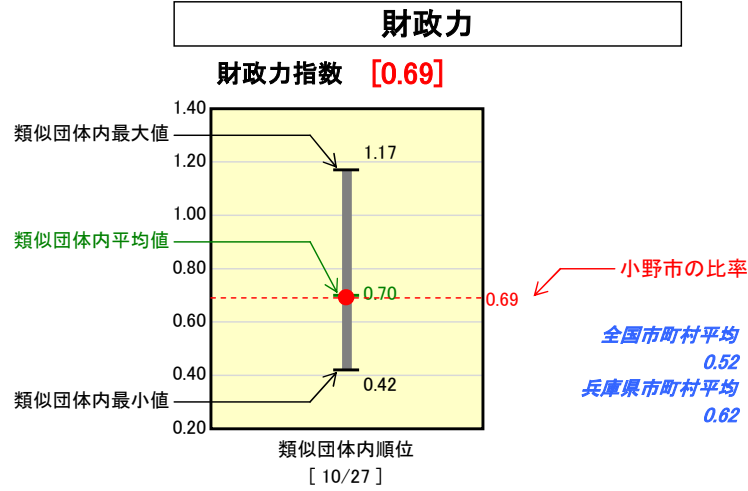


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

兵庫県 小野市

人口	49,801人	(H18.3.31現在)
面積	92.92	km ²
歳入総額	17,657,348	千円
歳出総額	17,244,806	千円
実質収支	343,449	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数**
指数は、ほぼ類似団体の平均に近い0.69であり、景気の影響により収支は伸び悩むが、ほぼ同率を維持している。都市の活性化、人口増対策、市税徴収の効果等による収支確保に努め、財政基盤の安定化を図る。
- 経常収支比率**
三位一体の改革による地方交付税等の大幅減、交流館の委託料や国保・介護特別会計への繰出金等の増により前年度よりも2.9ポイント高くなっている。今後、小野市の「方針管理(TQC)」に基づき、更なる人事管理や積極的なアウトソーシング等の行政改革による経常経費削減を図り、公債費や人件費等の総合的な管理を行ない、経常収支比率の抑制に努める。
- 人口1人当たり地方債(借金)現在高**
人口1人当たりの借金残高は、県下の都市部では良い方から**3番目**。全国の類似団体の平均残高と比べても良好な数字となっており、今後も引き続き、投資事業を抑制し、借金残高の縮減に努める。

- 公債費負担の健全度**
一般会計の借金については、将来負担の健全度のとおりであるが、企業会計、一部組合等の借金を含む実質公債費比率においては、下水道の整備が市内全域にほぼ完了したことや公立病院の経営等により全国の類似団体の平均よりは少し高い数値である。県下の平均値や実質公債費比率の指標の18%までは至っていないが、今後、緊急度・市民ニーズに配慮しながら、計画的な事業執行に取組み、借金を抑制し、健全な財政運営を図っていく。
- ラスパイレス指数**
本年は、職員の経験年数階層の変動により、前年のラスパイレス指数を上回ったが、今後も適正な給与水準の確保に努める。
- 人口1,000人当たりの職員数 / 人件費・物件費の適正度**
過去からの新規採用の抑制、民間委託の導入等により、定員管理の適正化、コスト削減及び効率性の確保に努めた結果、類似団体の平均を大きく下回っている。なお、病院、消防職員を除くH18.4.1の市民1,000人あたりに占める職員数は6.35人となり、県下では最も良好な数字となっており、今後も引き続き適正に定員管理を行っていく。